

鹿島槍ヶ岳東尾根（敗退）

平成25年4月27～28日

K多、Y川、他1名

26日夜発、道の駅安曇野松川で仮眠した。

27日

朝、後立山方面を眺めると、厚い雲に下まで覆われていた。予想以上に寒が入っている模様である。大谷原手前から雪が降り出し、大谷原では約10cmの積雪、長野県警山岳警備隊の方が、盛んに注意を促していた。白馬山荘ではブリザードとのこと。それでも、皆は上に登って行く。一の沢の頭では、既に数張りのテントが設営されており、二の沢の頭に向かう。ここで、先頭パーティに追いついた。ラッセルに苦労したようである。二の沢の頭手前の小ピーク上にテントを設営した。

28日

天候は回復傾向だが、新雪が50cmほど積もっている。尾根上部はガスに包まれており、風も強そうである。引き返すパーティがほとんどであるが、取りあえず二の沢の頭まで行くことにする。雪稜を越すと二の沢の頭で、先頭パーティが見えた。ラッセルに苦労しているようで、登る速度が明らかに遅い。少し尾根を進んだが、新雪が深く、雪崩の危険性が高いことと、どこまで登れるか見当がつかないため下山することに決定。下山途中、尾根上部のガスはとれたが雪煙が上がっていた。



雪景色の大谷原



一の沢の頭より



二の沢の頭より引き返す



二の沢の頭より一の沢の頭へ